

第 **168** 期中間報告書 2015.1.1-2015.6.30

株主の皆さまへ

トップインタビュー

地域No.1ソリューション企業として、  
さらなる成長と企業価値の拡大を目指す



# 地域No.1ソリューション企業として、さらなる成長と企業価値の拡大を目指す

## 今期の主な出来事>>>

- 4月 「静岡瓦斯」から「静岡ガス」へ商号を変更  
組織改編 事業部制の導入  
シンガポール駐在員事務所開設
- 7月 タイ 卸発電事業へ参画



代表取締役社長  
戸野谷 宏

## Q 現在の事業環境についてお聞かせください。

少子高齢化などによる人口の減少に加え、製造業の空洞化が進むなど、市場は縮小傾向にあります。エネルギー業界では、2016年の電力に続き、2017年には都市ガスの小売りも全面自由化されることが決まり、業種を超えたより激しい競争がすでに始まっています。また、長期エネルギー需給見通し\*1では、2030年度の工

ネルギー供給構造や電力構成などのほか、徹底した省エネの推進や、エネファームを含むコージェネレーションなど分散型エネルギーの推進も具体的な数値と共に国の方針が示されました。

こうした環境変化に迅速に対応するため、これまでのビジネスモデルを変革しなければなら

### 用語解説

\*1 長期エネルギー需給見通し：国のエネルギー政策の柱である「エネルギー基本計画」に基づき策定。本年7月に公表されたものは、エネルギーの安全性、安定供給などについて達成すべき政策目標を設定し、それが目標どおりに達成された場合に実現する2030年度のエネルギー需給構造のあり方を示したものの。

ない時期に差し掛かっています。ガスを供給するという従来の立場を改め、積極的にお客さまの懐に入り、常にお客さまの目線に立ち、ニーズをしっかりと捉えることが大切です。個々のお客さまのニーズを分析し、新しい付加価値をつ

け、より良いサービスや商材を提供し、地域のお客さまからお選びいただけるよう努めることで「地域No.1ソリューション企業」を目指していきます。

## Q 「地域No.1ソリューション企業」実現に向けた具体的な取り組みをお聞かせください。

くらし事業と位置づける家庭用分野では、お客さまのニーズやライフスタイルの多様化、省エネ意識の高まりなどに合わせた提案営業を推進します。ガスや電気などのエネルギーをお届けするだけでなく、リフォームなどのくらし全般にわたるさまざまなサービスを提供し、お客さまごとのスタイルに合わせた豊かで快適なくらしをサポートできるように努めていきます。

お客さまとの接点をさらに強化し、これまで以上にお客さまニーズをしっかりと汲み上げ、ご満足いただけるソリューションを提案することが、くらし事業の拡大につながると考えます。また、お客さまとの接点で得られる情報を効率よく分析し、それぞれのお客さまに合わせた提案につなげるためのICT\*2活用も進めています。接点営業とICTを融合させた営業スタイルが、くらしビジネスの新たな展開を可能にすると考えます。

マルチエネルギー事業と位置づける業務用・

産業用分野は、ガスと電力、熱などのエネルギーを最適に組み合わせ、お客さまの設備を有効に利用するためのソリューションサービスを提供していきます。特に、来年4月に販売を開始する電力が、これからのビジネスを展開する上で鍵になります。大手エネルギー会社のように大規模な発電設備で作る電力を販売するのではなく、静岡ガスだからこそできる、地域の特性を活かしたビジネスモデルを構築し、お客さまのニーズにお応えしていきます。

具体的には、地域の工場の自家発電で余った電力や、再生可能エネルギーなどから作られる電力を買い取ります。これに自社の発電設備（ガスコージェネレーション）で作る電力を合わせ、地域のお客さまに販売します。地域の分散型電源を活用して、電力の需給バランスを調整し電力の安定供給を通して、地域に貢献できると考えています。

\*2 ICT:情報通信技術 (Information and Communication Technology) のこと。



## Q シンガポールの事務所開設やタイの卸発電事業\*3への参画を発表されましたが、今後の海外展開についてお聞かせください。

自由化の中で競合するためには、競争力のあ  
るLNGの調達が必要です。清水エル・エヌ・ジー  
袖師基地は、ロケーション、気候、水深など、優れ  
た港湾条件を備えています。こうした基地のポ  
テンシャルを活かすため、LNGの再出荷(リロー  
ド)など、新たな視点での基地活用を追求し、流  
動化が進むLNGマーケットの中で、調達価格の  
低減を図っていきます。

その一環として、本年4月にシンガポールに事  
務所を開設しました。さまざまなLNG関連プ  
レーヤーが拠点を置き、世界の情報が集中する

シンガポールに進出することで、グローバルな  
情報を早期に捉え、新たなLNG取引につなげて  
いきたいと考えています。

また、国内のマーケットが縮小する中で、中長  
期的には海外での事業展開の可能性を模索して  
います。将来の海外での事業展開を視野に、海外  
におけるマネジメントや事業推進および発電事  
業のノウハウを得ること、また現地でのネット  
ワークを構築することを目的に、タイの卸発電  
事業に参画しました。

## Q 最近のトピックスがあればお聞かせください。

長年にわたり築き上げてきたお客さまとの信  
頼関係こそ、当社グループのかけがえのない財  
産であり、電力やガスが全面自由化された際に、  
お客さまに静岡ガスグループをお選びいただく  
決め手になるものと自負しています。お客さま

との信頼関係をさらに強固にするための原動力  
は従業員にあります。このため、人材育成や多様  
な人材活用など、人材マネジメント全般の見直  
しを進め、取り組みを強化していきます。

### 静岡県中部～西部をつなぐ 高圧パイプライン「静浜幹線」

静岡～浜松間をつなぐ静浜幹線は、浜松市や愛知県豊橋  
市を中心に都市ガス販売をする中部ガスと共同で建設。今  
年秋には総延長約108kmが全面開通します。

静浜幹線の開通により、中部ガスに向けたパイプライン  
による卸販売が始まります。



### 用語解説

\*3 卸発電事業：独立系発電事業者。IPP (Independent Power Producer) のこと。発電から小売りまでを行う電力会社とは異なり、発電だけを行い電力会社などに卸売り販売をする事業者。

静岡幹線は、ようやく本年秋に全線が開通する見込みとなり、中部ガスへパイプラインによる卸販売が開始されます。静岡県西部のお客さまにも、より安定的にガスをお届けできるようになります。

また、エネファームを利用した電力融通シス

テムや水素利用など、将来に向けた新たな技術開発を進めたり、街づくりなどを通じた地域の活性化にも積極的に取り組んでいきます。あわせて、ガス事業の基本であるパイプラインネットワークの形成や、ガスの安全・安定供給にも努めていきます。

## Q 最後に株主の皆さまにメッセージをお願いします。

株主の皆さまの日頃のご支援とご期待にお応えするため、中間配当金を1円増額し、1株につき6円としました。期末配当金も同様に6円とし、年間配当金は1株につき12円とする予定です。

静岡ガスを取り巻く事業環境は急速に変化しつつあります。当社グループが一丸となって課題に立ち向かい、地域のニーズに応え、地域の発展を支える「地域No.1ソリューション企業」としてさらなる成長を実現するとともに、安定的な配当と持続的な利益拡大により株主価値の最大化を追求してまいります。

今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



### 「地域No.1ソリューション企業」を目指し、成長する静岡ガスグループ

静岡ガスは、「地域No.1ソリューション企業」を目指すべき姿として事業を展開しています。

ガス事業にとどまらず、幅広いサービスを提供するため、組織を四つの事業部へ改編、より多様化するお客さまのニーズにお応えしていきます。「ソリューション」とは、解決や解明という意味があり、企業経営においては、「課題や問題の解決」といった意味で使用されています。



\*4 スマートエネルギーネットワーク:再生可能エネルギーやガスコージェネレーションシステムなどの分散型エネルギーシステムをネットワーク化し、ICT(情報通信技術)を使って最適に制御するシステム。

 マルチエネルギー事業部

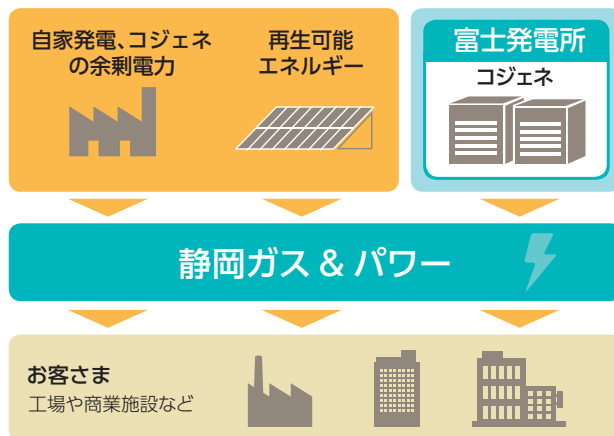
## 小売電気事業者の申請・発電所の建設、 電力販売の準備を進めています

静岡ガス&パワー(株)は、電力販売に必要な小売電気事業者の登録を経済産業省へ申請しました。登録により営業活動が可能となり、来年4月の販売開始に向けた本格的な営業活動がスタートできます。

当社が販売する電力は、地域の分散型電源や再生可能エネルギーなどから調達し、自社の発電設備で需要に合わせて調整したものです。現在は、その電力供給の調整を行う富士発電所を建設しており、来春の運転開始を予定しています。地域電力供給のモデルとして、安定した電力をお届けする準備を進めています。



### 電力事業モデル



### <富士発電所建設工程>



▲富士発電所建設風景 (2015年7月)

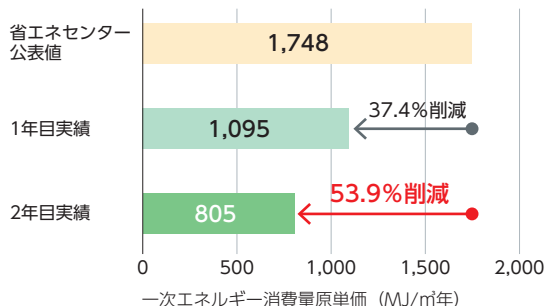
# 本社ビルの一次エネルギー消費量は一般オフィスの半分以下

静岡ガス本社ビルが完成してから2年が経ちました。「未来のエネルギーのあり方」を提案したこのビルの見学者は、3,500名を超えています。

本社ビルの一次エネルギー消費量は、省エネルギーセンターが公表する一般オフィスと比較すると約54%の削減をしています。特に夏期の削減効果は大きく、空調などの機器を利用状況にあわせて調節することで、さらに省エネを促せることが確認できました。

省エネビルの環境に自ら身を置き、効率的なエネルギー利用への関心を高め、無理のない省エネ環境創出のノウハウを蓄積しています。このノウハウは、空調を含めたビル等のエネルギーサービスとして活かしていきます。

■年間一次エネルギー消費量



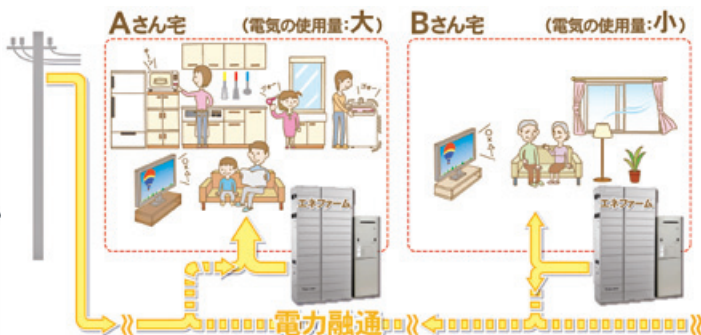
## 🏠 暮らし事業部

# 「T-グリッドシステム」採用の日本初 次世代型スマートマンションが誕生

東レ建設(株)の協力のもとで開発した「T-グリッドシステム」を採用したスマートマンションが、2016年度に静岡県長泉町に誕生します。

国土交通省の「住宅建築物省CO<sub>2</sub>先導事業」に採択されたこのマンションは、家庭用燃料電池システム「エネファーム」が各戸に設置され、「T-グリッドシステム」により住戸間の電力融通が可能となることで、一次エネルギー消費量は約25%、CO<sub>2</sub>排出量は約30%、外部からの電気購入量は約60%の削減となります。

静岡ガスでは、マンションの一括受電やエネルギーマネジメントサービスの提供も行います。



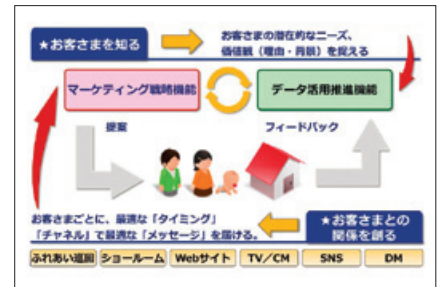


## データ活用でお客様の潜在ニーズに迫る

静岡ガスでは、お客さま一人ひとりに、より豊かな暮らしをご提案するため、お客さま自身がまだ気づいていない潜在的なニーズを捉えたいと考えています。今回、富士通の協力のもとでお客さまのデータを分析、電通のサポートによりマーケティングを行い、お客さまへの理解をさらに深めるための研究を行いました。この取り組みがCRM協議会より、CRM活用の優れたモデルとして評価され「2014CRMベストプラクティス賞」を受賞しました。

今後は分析力をさらに高め、リフォーム販売やエネルギーサービスでの運用を図ります。

CRMとは、顧客中心主義の経営やマーケティングを行うこと。



## 「天然の良港」清水港の利点を活用、LNG基地にリロード設備を設置

静穏な海域と水深などから天然の良港と言われ、古くから地域経済と深く関わってきた清水港。船舶の輻輳<sup>ふくそう</sup>度や大型船が入港できるなどの優れた港湾条件は、高いポテンシャルとなっています。

こういった環境を最大限に活かすため、今まで受入のみだったLNG基地に再出荷（リロード）設備を設置します。清水港のポテンシャルを活かして、新たな基地活用を迫及し、競争力のある調達につなげていきます。



### シンガポール事務所開設とタイ卸発電事業参画

本年4月、シンガポールに駐在員事務所を開設しました。LNGに関連するさまざまなプレーヤーとネットワークを構築し、グローバルな情報収集を行うことで、新たなLNG取引へとつなげていきます。

また、7月にはタイで卸発電事業を行うEastern Power and Electric Company Limitedの株式28%を取得しました。将来の海外での事業展開を視野に、海外におけるマネジメントや発電事業のノウハウを得ることなどを目的に同事業へ参画します。

今後は両拠点の連携によるさまざまな可能性も追求していきます。



# 株主スクエア

## 施設見学会のご案内

静岡ガスについて、よりご理解を深めていただくため、株主の皆さまを対象とした施設見学会を行います。

見学施設	日程
● 清水エル・エヌ・ジー袖師基地	10月22日(木) 13:00～
● 静岡ガス本社ビル	10月27日(火) 13:00～

※概ね3時間程度を予定しています。

**募集人数** 30名様/回  
 ・同伴は1名まで。(未就学児は、ご遠慮願います。)  
 ・応募者多数の場合は抽選といたします。

**参加費** 無料(ただし、集合場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。)

**集合場所** JR静岡駅(施設への直接のご来場はご遠慮願います。)

**申込方法** 参加ご希望の株主さまは、同封のアンケートはがき表面に必要事項をご記入の上、**9月15日(火)**までに  
 ご返送ください。別途、詳細についてご連絡させていただきます。

## NEWS

### 静岡県地球温暖化防止活動 知事褒章を受章

地球温暖化防止に功績のあった個人または団体に対し、静岡県知事が表彰を行う「平成26年度静岡県地球温暖化防止活動 知事褒章」を受章しました。

通算1,000件以上の環境教育活動や環境に配慮した料理教室、自然観察教室、本社ビルの見学会など、多様な手法で啓発活動を行ってきたことが評価されました。

### 佐渡市活性化に関するパートナーシップ協定を締結

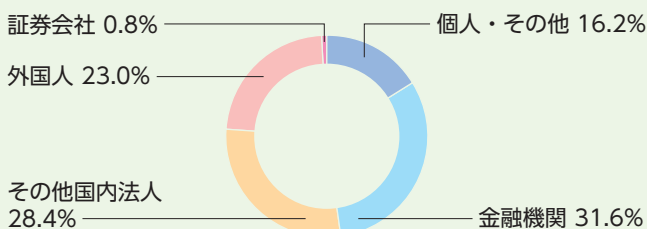
新潟県佐渡市と「佐渡市活性化に関するパートナーシップ協定」を民間企業で初めて締結しました。

佐渡市の交流人口の拡大、定住人口の増加、地域経済活性化を目的に、地域づくりや観光・産業振興などで佐渡市と連携を図ります。今後は静岡ガスグループの佐渡ガスを窓口に、佐渡市と定期的な協議を行い、連携活動を具体化していきます。

### 株式の状況 (2015年6月30日現在)

発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	76,192,950株
株 主 数	3,032名

### 所有者別株式分布状況



2015年度中間配当金 1株につき **6.0円**

2015年度予想配当金 1株につき **12.0円**  
 (中間6.0円+期末6.0円)

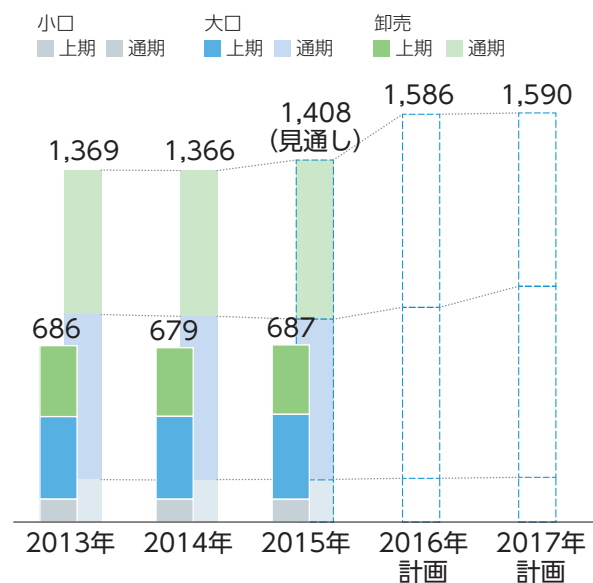


アンケートのお願い  
 同封のアンケートはがきで、ご意見・ご感想をお聞かせください。

## ガス販売量(個別)

(単位:百万m)

(単位:百万m)

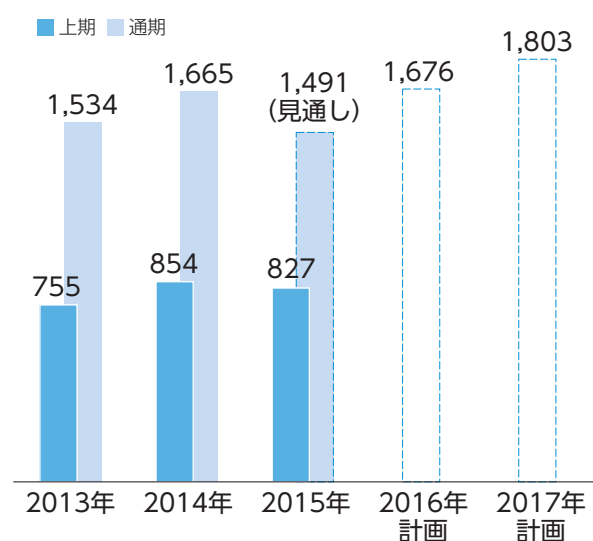


	2013年	2014年	2015年 (通期は見通し)	2016年 計画	2017年 計画
卸売	562	567	619	751	674
上期	276	267	287		
大口	642	637	625	665	743
上期	321	322	311		
小口	165	163	164	170	174
上期	89	89	88		
合計	1,369	1,366	1,408	1,586	1,590
上期	686	679	687		

今期のガス販売量(個別)は、家庭用や大口工業用が減少したものの、卸売が増加したことなどから、前年同期比101.2%の6億87百万m<sup>3</sup>となりました。また、本年秋に予定する静岡幹線の全面開通などにより、ガス販売量が増加する見通しです。

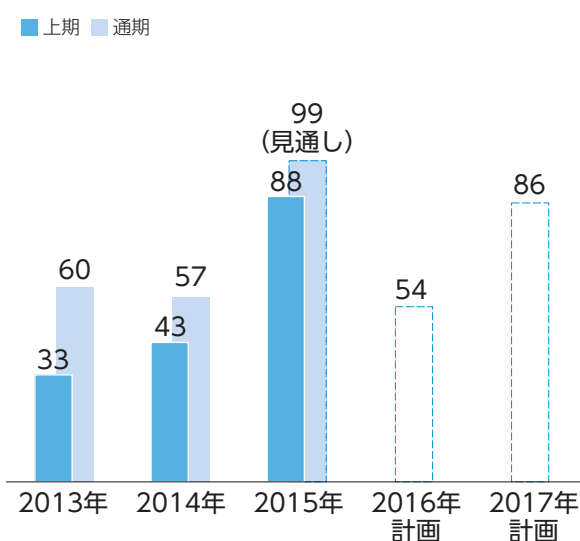
## 売上高

(単位:億円)



## 営業利益

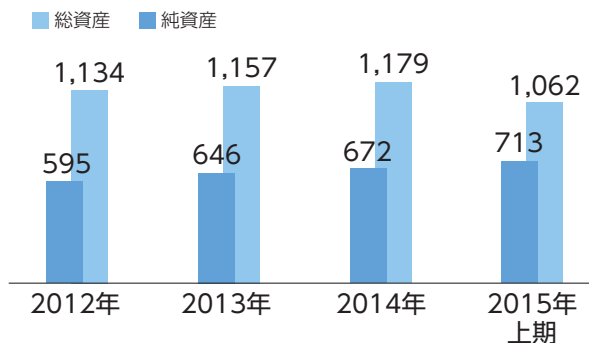
(単位:億円)



売上高はLNG販売量の減少やLPG販売単価の低下などから、前年同期に比べて減少しました。一方で営業利益は、原料価格の低下がガス販売単価に反映されるまでのタイムラグによる影響などから増加しました。

## 総資産・純資産

(単位:億円)

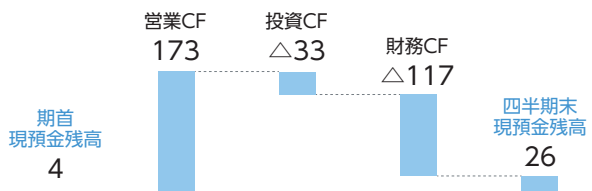


総資産は、原料受入のタイミングによる原材料の減少などから、前期末に比べ減少しました。

純資産は利益計上により増加し、自己資本比率は60.6%となりました。

## キャッシュ・フロー(CF)

(単位:億円)



営業CFは、減価償却前利益が140億円となり、たな卸資産の減少などにより、173億円の収入となりました。

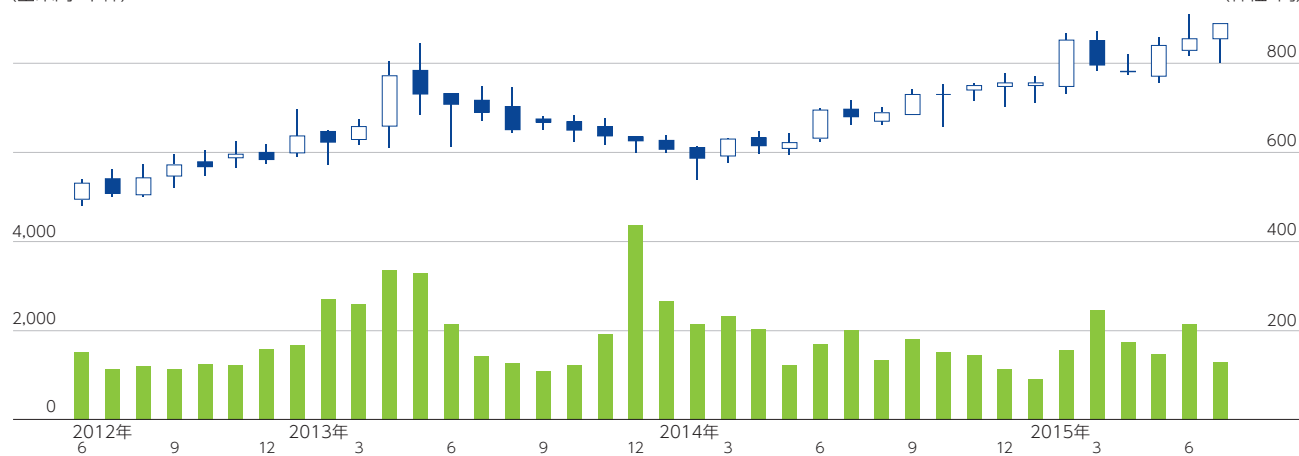
投資CFは、ガス導管網の拡張・整備や発電設備建設工事などにより、33億円の支出となりました。

財務CFは、借入金の返済や配当金の支払などにより、117億円の支出となりました。

## 株価チャート

(出来高:千株)

(株価:円)



## 詳しい情報は静岡ガスのIRページへ

詳細な財務情報のほか過去の各種報告書  
をご覧ください。ことができます。

静岡ガスIR

検索



▲ファクトブック



▲決算短信



## 会社データ (2015年6月30日現在)

## 会社概要

会社名	静岡ガス株式会社
設立	1910年(明治43年)4月16日
資本金	6,279百万円
事業所	本社 静岡市駿河区八幡1-5-38 静岡支社 静岡市駿河区池田28 富士支社 富士市荒田島町10-52 東部支社 沼津市岡一色809

## 取締役および監査役

代表取締役	岩崎 清悟	戸野谷 宏
取締役	宮坂 広志	杉山 寛
	伊久美 豊	岸田 裕之
	松浦 康男*	山内 静弘*
	野末 寿一*	
常勤監査役	増田雄一郎	
監査役	金井 義邦**	丸野 孝一**

\*は社外取締役です。  
\*\*は社外監査役です。

## 執行役員

取締役会長	岩崎 清悟	
取締役社長	戸野谷 宏	
専務執行役員	宮坂 広志	杉山 寛
常務執行役員	伊久美 豊	岸田 裕之
	海野 和雄	勝又 茂
執行役員	望月 俊直	栗田 誠
	上田 直弘	町野 文重
	杉山 昭弘	小杉 充伸
	中井 俊裕	飯田 晃司

## 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで	
定時株主総会	3月下旬	
基準日	定時株主総会・期末配当	12月31日
	中間配当	6月30日
株主名簿管理人	みずほ信託銀行 〒103-8670 東京都中央区八重洲一丁目2番1号	
郵便物送付先	みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号	
電話照会先	☎0120-288-324(フリーダイヤル)	
公告の方法	電子公告により公告します。 ( <a href="http://www.shizuokagas.co.jp/">http://www.shizuokagas.co.jp/</a> ) *ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。	
1単元の株式数	100株	
証券コード	9543	

## ●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、三井住友信託銀行(フリーダイヤル:0120-782-031)にお申出ください。

## ●未払配当金のお受取先について

みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店・全国各支店にてお取扱いいたします。(みずほ証券では、取次ぎのみとなります。)

## ●その他のお問い合わせ

静岡ガス コーポレートサービス部 総務担当  
☎054-284-4153

くらしを考え、明日をつくる。

**SHIZUGAS**  
静岡ガス

## 静岡ガス株式会社

静岡市駿河区八幡1-5-38  
TEL: 054-284-4141 FAX: 054-283-1724  
<http://www.shizuokagas.co.jp/>

